

令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	10	学校名	二階堂高等学校
----	----	-----	---------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	二階堂フェスタ
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	1年生「産業社会と人間」、2・3年生「社会人基礎力」における研究活動の一環として、全校生徒の中から有志による実行委員会を組織し、地域活性化について実学を通して学ぶ。
連携・協働相手	天理市役所、荒蒔町自治会
地域と共有している目標・課題等	地域創生に資する人材の育成、学校と近隣住民との連携・協働の深化
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>11月11日（土）天理駅前広場コフフンで、SDGs（持続可能な開発目標）の精神に則り、地域活性化の一環として「二階堂フェスタ」を開催した。地域住民の方々に楽しんでもらえるフェスタの姿を念頭に置き、子どもを対象としたイベントの実施及び屋外ステージでの発表などを行った。今年度の新たな取組としては、「福祉」の授業選択者も参画し、来場者のバイタルチェック、車椅子乗車体験を行った。また、12月15日（金）～12月23日（土）には、二階堂高等学校内でイルミネーションと灯籠の展示を行った。灯籠には、地域の方々が願い事を半紙に書いたものを使用し、実施期間中はたくさんの地域住民の方々が来校され、イルミネーションを楽しんでいただくことができた。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>全校生徒から有志として生徒実行委員を募り、企画から運営までを行った。一人ひとりがこのイベントを成功させたいという気持ちをもっており、部門ごとにコミュニケーションを取り合いながら準備を進めることができた。参加団体の発表・展示内容の調整や、天理駅前広場コフフンでの開催に向けての天理市関係部署との諸調整の経験を通じて、生徒が主体となって創りあげていく感覚を得られたのではないかと思う。また、校内イルミネーション実施期間中はたくさんの近隣住民の方々に来校していただき、喜びの感想を聞くことができた。イルミネーションを毎年の楽しみにしているというような声も聞くことができ、地域の方々との対話を通じた交流ができたことも成果のひとつだと考えている。</p> <p>今後は、課題設定から研究発表に至るまで、生徒が主体的に活動できるように、答えを生徒に考えさせる指導を徹底していきたいと考えている。</p>	
--	--

